

南アルプスフロントトレイル 十枚峠から安部峠

日 程=5月3日(土)~4日(日)

山行者=M 上

GW は北アルプスのスキー縦走を計画したのですが日程と天候がうまく合わずそれに直前の情報でコース稜線の雪の量がかなり少なく 2 年前にも雪の少ない経験をしていましたがスムーズなスキー行が期待出来そうもないのでやめることにしました。

余り雪山に行く気持ちも沸かずそれでもどこか歩きたいと思いやり残していた南アルプスフロントトレイルを歩くことにしました。フロントトレイルは一昨年と昨年に H 本さん D 山さんと北端の夜叉神峠から早川の七面山登山口までと南端の貫ヶ岳から十枚峠まで歩いたのですが途中の十枚峠から七面山登山口までを歩き残していました。

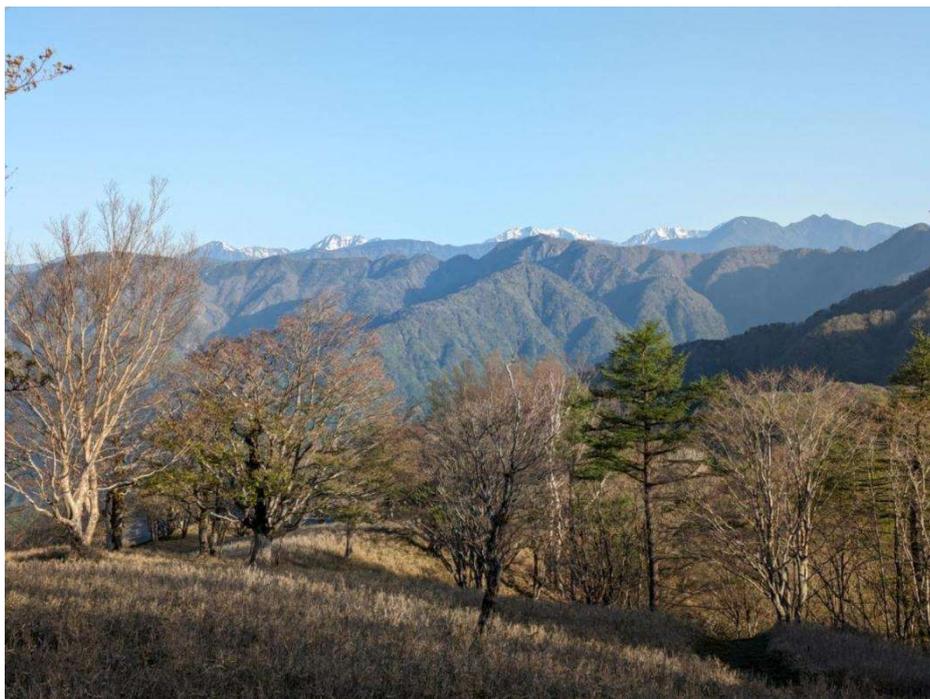
3 日：早朝新横浜から静岡まで新幹線、梅ヶ島温泉行きのバスで途中の関の沢バス停で降り 10:15 に歩きだします。しばらくは十枚山登山口までまばらに人家と茶畑のある道路が続きましたが登山口まで高度差が 420m もあり 11:30 登山口に到着。ここからが山道で「熊に注意」の大きな看板の横から登ります。しばらく杉の植林の斜面が続き 30 分ほど登ると十枚山に登るコースと十枚峠に直接行くコースに分かれますが十枚峠の道は張り綱があり崩壊して通行禁止となっていました。多分行けない事は無いと思いましたが崩壊場所の通過に時間がかかる可能性もあり十枚山から十枚峠に行くことにしました。

十枚山 1726m に 14:18 到着。荷物は山頂にデポして今晚と明日の行動水を入れるプラティパスだけ持って本来のスタート地点の十枚峠まで南下しました。十枚峠に直接登る道を 20 分ほど谷に下ると水があり今日の宿泊予定地十枚山に戻ったのは 16:18 山頂から北に少し進むと笹原が広がりそこにテントを張りました。



夕刻になるとホッポッと雨が降りだしましたが夕食が終わったころにはやんでその後は星空が広がりました。

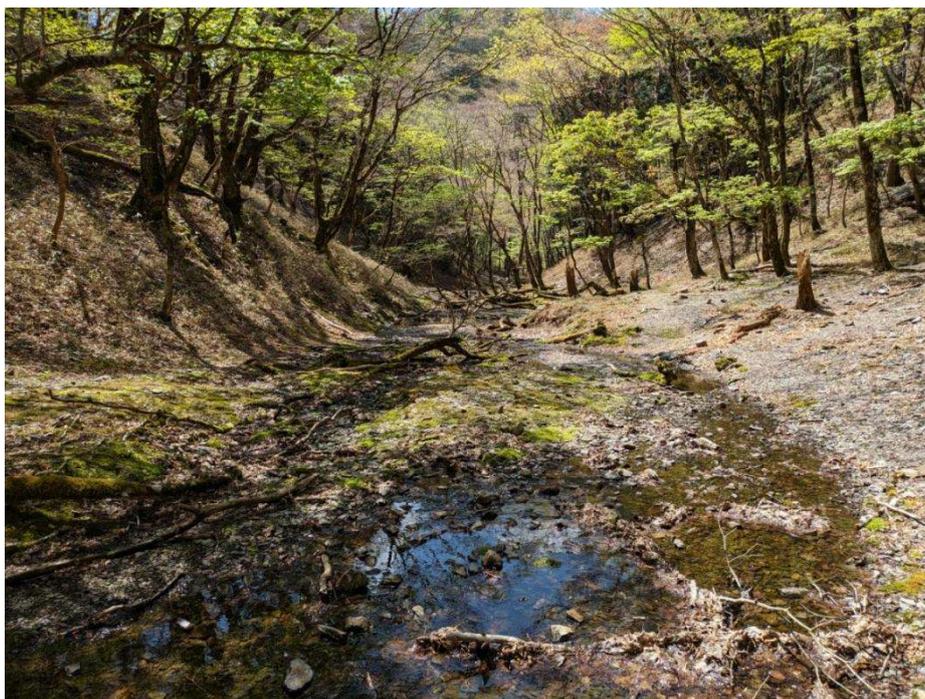
4日：夜中寒さで目が覚め着込んで寝なおし、次は近くで鳴く大きな鹿の声で目が覚めてなんとなく寝不足のような感じで出発は5：40 近くになってしまいました。それでも歩き出すと昨年歩いた十枚峠までの道に比べ尾根は広くのんびり気持ちよく歩けます。遠く西には雪の残る南アルプスの主脈の山々が見えて東にはいつも富士山が。



GW中なのでしょう数人の人とすれ違いましたがテントを担いでいる様な人は見かけませんでした。途中で初老の方とちょっと立ち話。荻安峠、大光山、ワサビ沢の頭と広い尾根を歩きますが南アルプスの所々によくある崩壊中の斜面もあります。ワサビ沢の頭でお昼を食べて先に進みました。



バラの段に近づくと道は細くなり注意しながら一旦下って登るとバラの段に到着。バラの段から急降下をしばらく続けていると足の親指の付け根が痛くなってきました。どうも老人特有の爪の変形した部分が炎症を起こしてるようです。



それでも下降を続けると谷間に広がった安部峠に 12 : 53 到着しました。計画では本日はここで水を汲んで八紘嶺の先まで歩くつもりでしたが下りがどうもつらくなってきたのでここから梅ヶ島温泉に下ることにしました。ちなみに地図を見ると七面山から早川登山口までかなり長い下りが続きます。

峠から少し下ると地面から水がしみだして流れが来ています。流れに沿った踏み跡は時々沢の左右に代わりますが気持ちの良い流れで水はどんどん増えて大きな流れに代わってきました。沢から途中安部峠まで上がっている今は使われていない道路に出て少し歩き今度は杉の植林地帯の道に入りますが下っているとモソモソと歩いているアナグマと対面。スマホを向けるほどの時間はありませんでした。自然の中でアナグマを見たのは初めてでした。またしばらく道を下って 14 : 45 梅ヶ島温泉に到着しました。

直前で計画した十枚峠から七面山早川登山口までの計画でしたがまた安部峠から七面山の部分が残ってしまいました。南アルプスフロントトレイル完全走破なんて切望しているわけではないのですが何となく残ってしまったので今度は H 本さん D 山さんと十枚峠から再スタートです。

M 上 記